

【MEMO】

平成28年2月吉日

石川県歯科医師会  
石川県栄養士会 会員各位  
日本老年歯科医学会  
介護・母子保健に関わるすべての職種の皆様

石川県歯科医師会  
会長 蓮池 芳浩  
石川県栄養士会  
会長 新澤 祥恵

## 『石川県歯科医師会・石川県栄養士会連携事業 第七回研修会』 開催のお知らせ

時下益々ご清祥の段お慶び申し上げます。  
さてこの度、標記研修会を開催致します。皆様におかれましては、ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご出席、ご研鑽下さいますようお願いいたします。

記

- 日時** 平成28年3月13日（日） 10：00～12：45  
**場所** 石川県立中央病院 健康教育館 2階 大研修室  
〒920-8530 石川県金沢市鞍月東2丁目1番地
- テーマ** 「オーラルフレイル ～全身の栄養状態との関連～」
- 対象者** 歯科医師・歯科衛生士・医師・管理栄養士・栄養士  
主任介護支援専門員・介護・母子保健にかかわる全ての職種の皆様
- **講演Ⅰ** 10：05～11：45  
**演題** 「オーラルフレイルの基礎知識  
～いまなぜフレイルが注目されるのか～」  
**講師** 東京都健康長寿医療センター研究所  
専門副部長 平野 浩彦 先生
- **講演Ⅱ** 11：50～12：30  
**演題** 「オーラルフレイル期の維持・回復するための取り組み  
～実例報告～」  
**講師** 医療法人社団 光仁会  
木島病院 管理栄養士 小西 優子 先生

※日歯生涯研修ICカードをご持参下さい。

## 講演 I

# オーラルフレイルの基礎知識 —いまなぜフレイルが注目されるのか—

東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長 平野 浩彦

皆保険などの公的医療サービスの充実に伴い日本は世界に冠たる長寿国となったが、今後は平均寿命だけでなく「健康寿命」の延伸が重要視されている。こういったことから高齢期では、疾患予防と併せ「危険な老化の早期発見・早期対処」が重要視され、そのヘルスプロモーション推進の基盤概念がフレイル（Frailty）である。口腔に目を転じると、8020運動達成者が5割に近づこうとしているいま、高齢者の咀嚼（口腔）機能をより向上させるためには、歯数維持を中心とした口腔疾患予防だけでなく、先に触れた「寿命」と同様な転換が求められている。こういったオーラルヘルスプロモーションを進めて行く上での基盤概念として、オーラルフレイルが提案された。

当日は、フレイルからオーラルフレイルの概念を中心に、ご参加のみなさんと考えていければ幸いです。

## 【講師略歴】

### 平野 浩彦

日本大学松戸歯学部卒業 医学博士

平成2年 東京都老人医療センター 歯科口腔外科 研修医

同年 財部歯科医院

平成3年 国立第二病院 口腔外科 研修医

平成4年 東京都老人医療センター 歯科口腔外科主事、

平成14年 同センター医長

（東京都老人医療センター・東京都老人総合研究所の組織編成により  
東京都健康長寿医療センターへ名称変更）

平成21年 東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長

日本老年学会 理事

日本応用老年学会 理事

日本老年歯科医学会 常任理事・専門医・指導医

国立長寿医療研究センター特別研究員

東京歯科大学 非常勤講師

日本大学松戸歯学部 非常勤講師

## 【興味のあるテーマ】

身体加齢変化と口腔機能の関連

認知症の人の摂食・嚥下障害への支援法の確立

地域における効率的な歯科医療提供体制の確立

医療と介護の周辺サービスビジネスモデル構築

## 講演 II

# オーラルフレイル期の維持・回復するための取り組み ～事例報告～

医療法人社団 光仁会 木島病院 管理栄養士 小西 優子

日本栄養士会・日本歯科医師会の連携・協働による「健やかな食と食べる機能」を支援するための取り組みの1つに、高齢者・有病者対策として「食べる機能を維持・回復するために」機能程度に応じた専門職の適切な支援が大切であることなどが書かれております。当院では平成23年度より、歯科衛生士が病棟や在宅介護センターに常駐するようになり「食と歯・口の定期的な管理」ができるようになりました。今回は歯科衛生士と共に取り組んでいる要介護者への支援の様子をお伝えできればと思います。

## 【講師略歴】

### 小西 優子

平成59年 3月 北陸学院短期大学食物栄養科卒業

平成59年 6月 医療法人社団光仁会入社

平成4年 管理栄養士取得